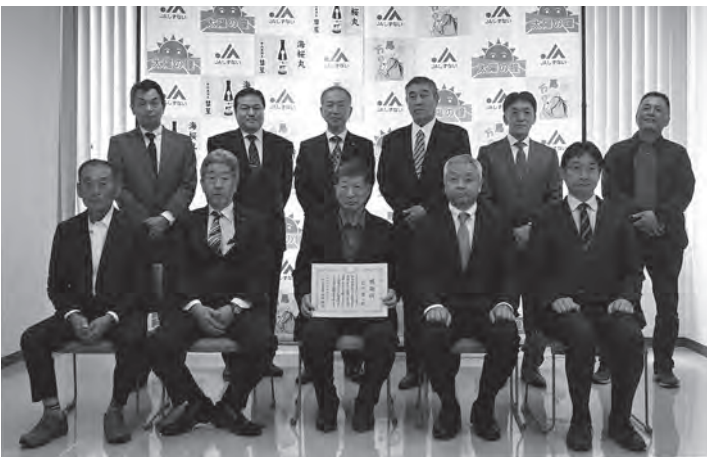
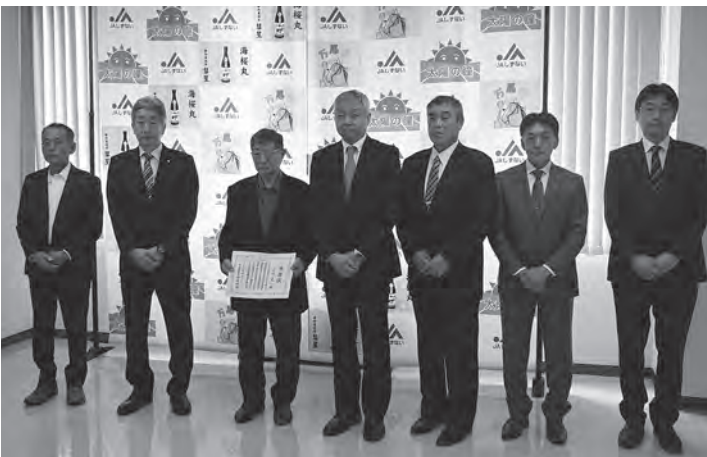


石川栄一さん、 税務署長より表彰

青色申告普及に貢献 功績をたたえる

4月17日に静内農業青色自主申告会（小池孝義会長 会員150人）の会長を37年間勤め、昨年の8月に退任した石川栄一さんに浦河税務署長表彰が贈られました。同申告会はJAしずないの正組合員である会員が青色申告の自主記帳、自主申告を行っており、農業経営の合理化と、健全な農業の発展を目的としております。

発足の経過としては、1985年、石川さんが記帳方法などの指導を受けに浦河税務署へ何度も訪問した際に、同税務署から記帳の重要性や青色申告の必要性を地域の農業者へ浸透させてもらえないかという要望を受け、1986年に「静内農業青色自主申告会」を設立、会長に就任しました。



活動内容としては年2回の源泉徴収税納付に係る相談受付や所得税、消費税申告の相談受付、税務研修会などを実施し、適正申告に多大な貢献をしました。

石川さんは、「最初は、自分の経営状況を確認するために始めました。帳簿をつけることで経費の削減や年間の収支が目で見えるようになりました。徐々に会員も増え、それぞれが経営のための努力をしております。税務署の指導や農協の協力があり、会長を長く勤められました。農家の経営状況を把握するのは記帳が一番。簡単なようで難しいことへの大切さを皆さんに伝えようと努めてきました。」とお話をされ、福岡伸司浦河税務署長は「多年にわたり青色申告制度の普及と啓蒙活動、適正な申告納税の推進に努められ、税務行政の円滑な運営に多大なる貢献をいただいたことに深く感謝したい。」との労いの言葉を送られていました。